



# たんぽぽ



秋といえば、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、皆さんは何を思い浮かべますか？

私は秋になると、母が茹でてくれた栗を思い出します。茹で上がった栗を半分に切ってもらい、スプーンですくって食べました。幼な心に秋の味覚を感じていたことと思います。

さて、本格的に2学期が始まり体調を崩す人が増えています。疲れが出やすい時期ですが、秋晴れの日には外で体を動かしたり、季節の食材を食べて栄養をつけたりして、元気に乗り切っていきましょう。

## 行事予定

### 10月

3日（火）午後：城南ブロック研究会

9日（月）スポーツの日

10日（火）午後：都難言協 専門研究会

12日（木）午後：就学支援委員会

17日（火）午後：専門相談（武井 良子先生）

21日（土）土曜授業 親子相談

24日（火）午前：専門相談（村尾 愛美先生）

26日（木）午後：就学支援委員会

### 11月

3日（金）文化の日

7日（火）午後：城南ブロック研究会

9日（木）午前：専門相談（浅香 智恵先生）

午後：就学支援委員会

10日（金）志茂田小学校「学芸会」

11日（土）志茂田小学校「学芸会」

13日（月）振替休業日

23日（木）勤労感謝の日

28日（火）午後：都難言協通級研究会

30日（木）午後：就学時健診・就学支援委員会



12月6日（水）14:45～16:30

ことばの教室「交流会」があります！

今年度も子供たちのアイデア溢れる発表会を計画していますので、どうぞお楽しみに。



# どう思った？どんな気持ち？



気持ちを尋ねると上記のような言葉を返す子供たちがいます。物語の登場人物の気持ちも読み取りが苦手です。こういった子供たちは感情のリテラシー(感情を認識して言葉として表現できる力)が育っていないのではないかと心配されます。自分の気持ちだけでなく他者の気持ちも理解し表現する能力のことで、コミュニケーションや社会性の育ちにもつながります。

気持ちを表現する力を伸ばすために次のような働きかけが大切です。

## 気持ちに気付く

何かを体験した時自分の心の中で生じる揺れが「気持ち」です。この気持ちに気付けるように体験を一緒に振り返り、気持ちを代わりに言葉にしてあげる働きかけが必要です。体験を思い出せない時は時間を追って一緒に思い起こしながら、体験を言葉で表していく中で気持ちを代弁し気付けるように働きかけます。気持ちの表現は知識として増やすだけでは身に付かず、体験を通して獲得していくと言われます。身近にある体験の中から様々な気持ちの気づきへとつなげていきます。

## 気持ちのボキャブラリーを増やす

「気持ち」に気づき理解するためには気持ちのボキャブラリーが必要です。「わくわくする」「怒っている」など気持ちのボキャブラリーを増やしていくことで気持ちにあった表現ができるようになっていきます。ボキャブラリーを増やしていくのも子供一人では難しいため気持ちを代弁する働きかけが必要となります。

自分の気持ちが分かると他者の気持ちの理解につながり、表現力がつくコミュニケーションの力のアップにつながります。

(文責 小松)

=参考文献 知って役立つ心理学 渡辺弥生=



## 第3回吃音グループ

10月4日(水曜日) 3時30分~4時30分

ある子の体験からみんなに質問があるそうです。たくさん意見を聞かせてください。他の人の意見を聞いて新たな気づきやトライにつながっているようです。これまで自分の気持ちをあまり話さなかった子が「緊張に耐性がついてきたみたい」と話しました。「気持ちに気づき、受け止める」が出てきました。

